

テーマ 新たな港防災センターについて

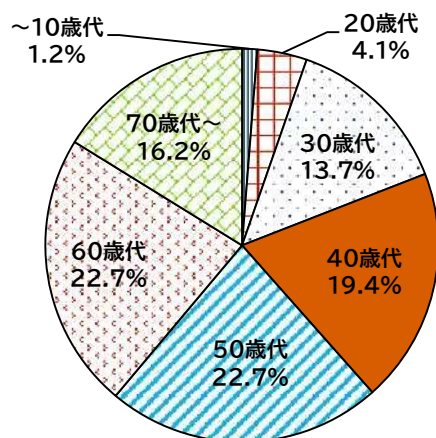
調査期間 令和 7 年 8 月 20日から令和 7 年 8 月 26 日

担当課 防災危機管理局防災企画課

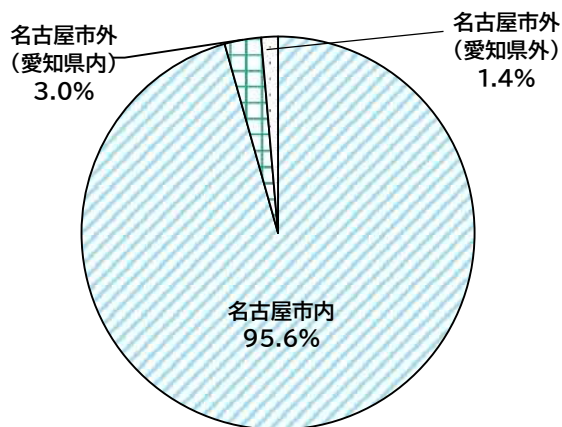
回答者数 1,761 人

属性

年齢	回答数	比率
～10 歳代	22	1.2%
20 歳代	72	4.1%
30 歳代	242	13.7%
40 歳代	341	19.4%
50 歳代	399	22.7%
60 歳代	400	22.7%
70 歳代～	285	16.2%



居住地	回答数	比率
名古屋市内	1,684	95.6%
名古屋市外(愛知県内)	53	3.0%
名古屋市外(愛知県外)	24	1.4%



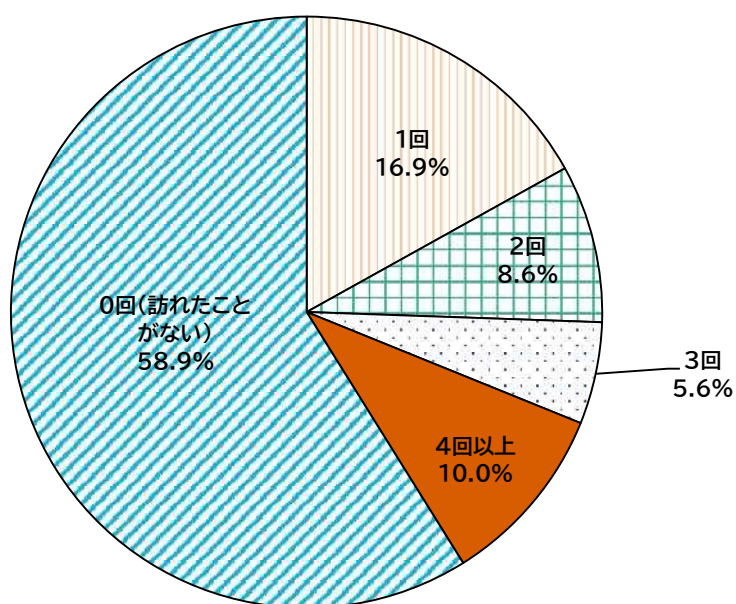
質問

単一回答

Q3. あなたは、港防災センターを何回訪問したことがありますか。

回答者数 1,761 人

選択肢	回答数	比率
1 回	298	16.9%
2 回	152	8.6%
3 回	98	5.6%
4 回以上	176	10.0%
0 回(訪れたことがない)	1,037	58.9%



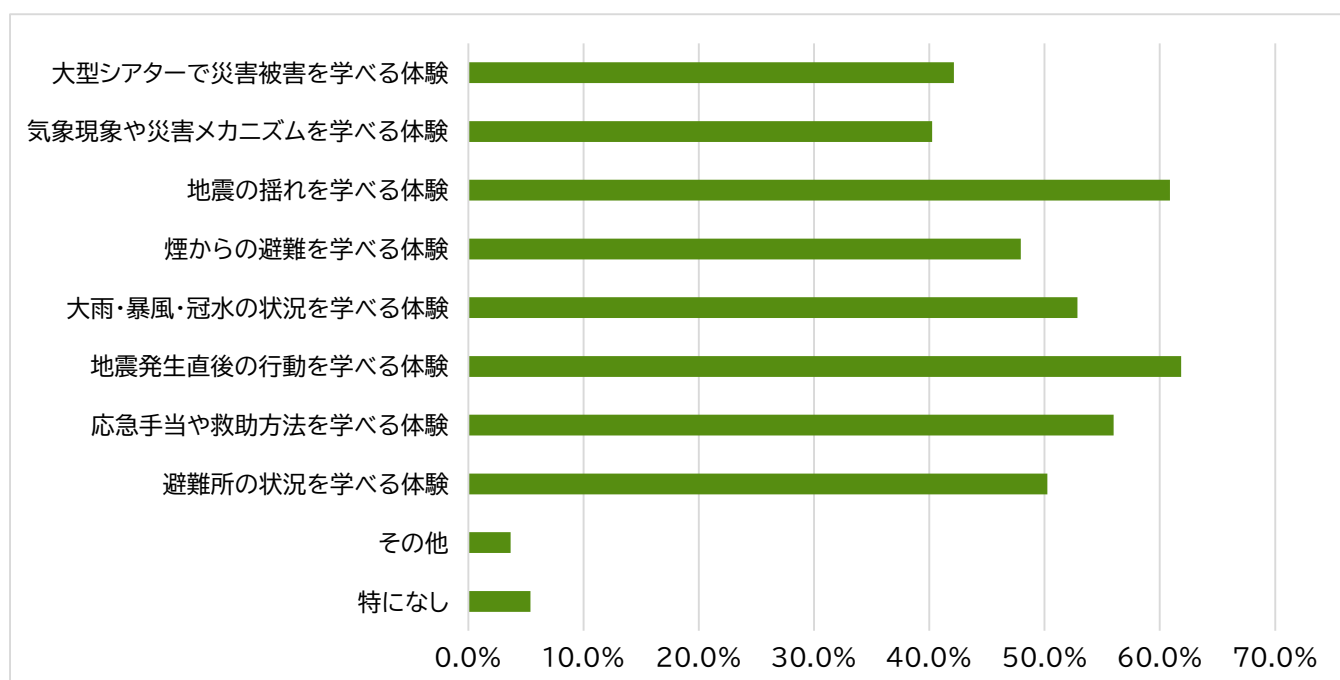
質問

複数回答

Q4. 新たな港防災センターでしたい体験はどれですか。

回答者数 1,761 人

選択肢	回答数	比率
大型シアターで災害被害を学べる体験	742	42.1%
気象現象や災害メカニズムを学べる体験	709	40.3%
地震の揺れを学べる体験	1,072	60.9%
煙からの避難を学べる体験	844	47.9%
大雨・暴風・冠水の状況を学べる体験	931	52.9%
地震発生直後の行動を学べる体験	1,089	61.8%
応急手当や救助方法を学べる体験	986	56.0%
避難所の状況を学べる体験	885	50.3%
特になし	95	5.4%
その他	65	3.7%
特になし	95	5.4%



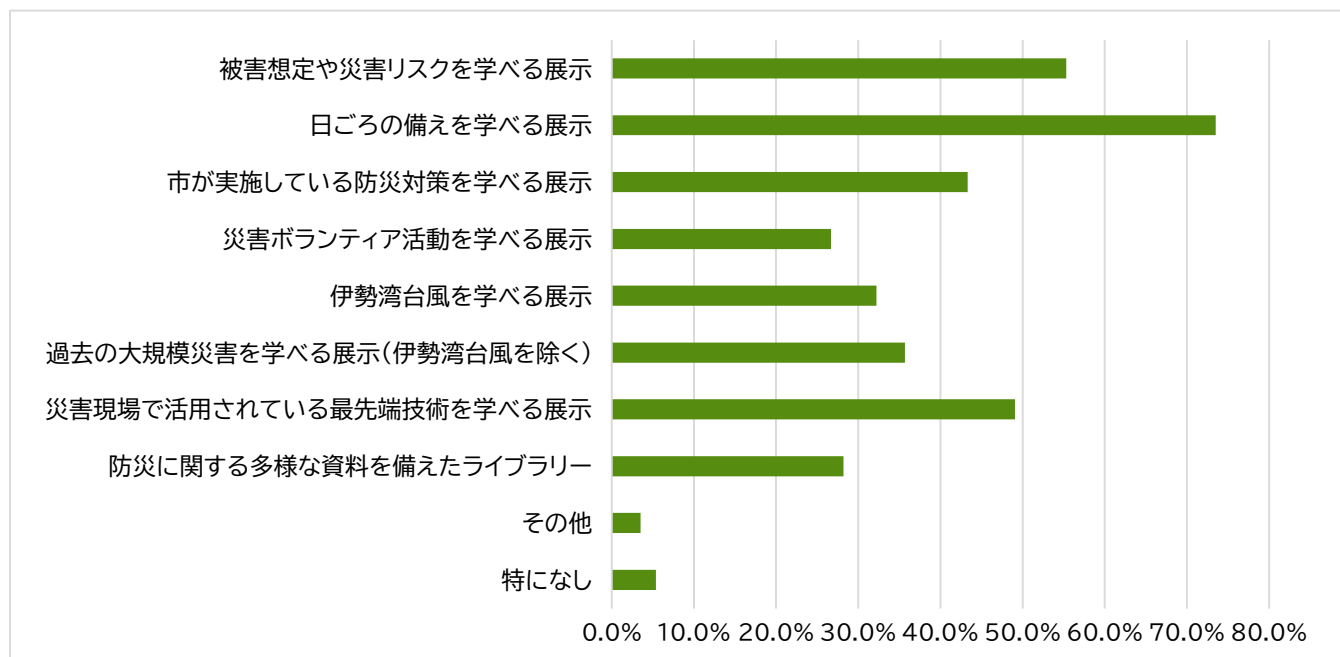
質問

複数回答

Q5. 新たな港防災センターにあるとよい展示はどれですか。

回答者数 1,761 人

選択肢	回答数	比率
被害想定や災害リスクを学べる展示	974	55.3%
日ごろの備えを学べる展示	1,249	70.9%
市が実施している防災対策を学べる展示	763	43.3%
災害ボランティア活動を学べる展示	470	26.7%
伊勢湾台風を学べる展示	567	32.2%
過去の大規模災害を学べる展示(伊勢湾台風を除く)	628	35.7%
災害現場で活用されている最先端技術を学べる展示	865	49.1%
防災に関する多様な資料を備えたライブラリー	496	28.2%
その他	62	3.5%
特になし	95	5.4%



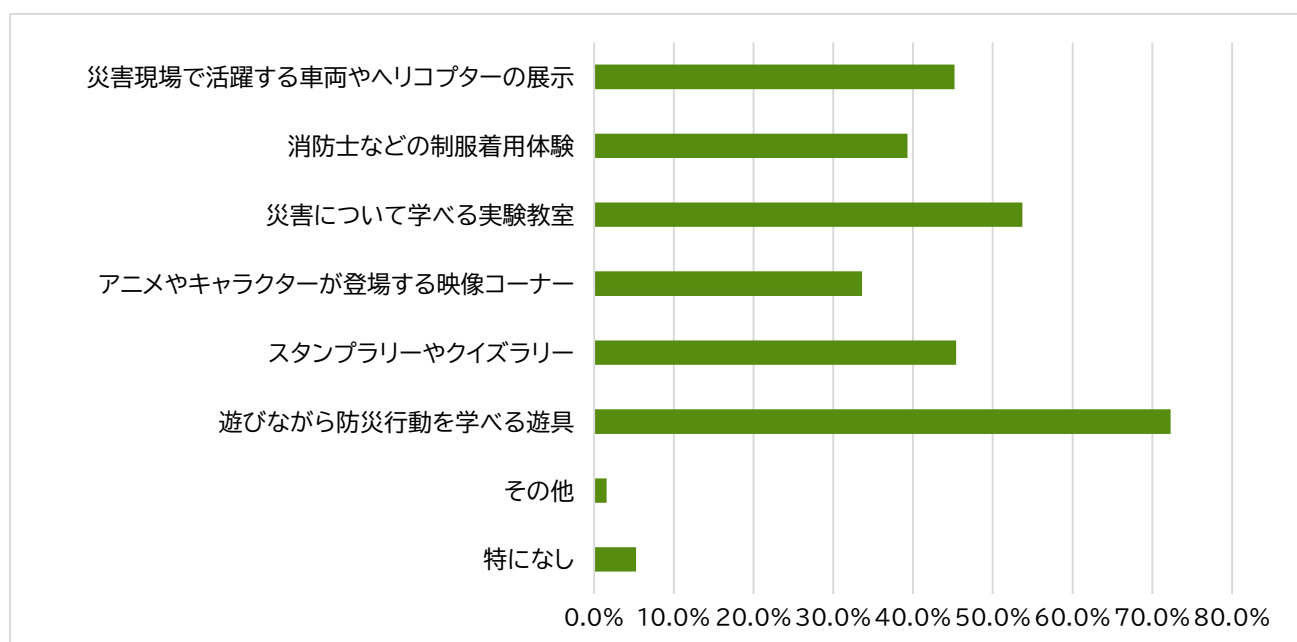
質問

複数回答

Q6. 新たな港防災センターにあるとよい小さなお子様向けの展示はどれですか。

回答者数 1,761 人

選択肢	回答数	比率
災害現場で活躍する車両やヘリコプターの展示	796	45.2%
消防士などの制服着用体験	692	39.3%
災害について学べる実験教室	946	53.7%
アニメやキャラクターが登場する映像コーナー	591	33.6%
スタンプラリーやクイズラリー	799	45.4%
遊びながら防災行動を学べる遊具	1,273	72.3%
その他	28	1.6%
特になし	94	5.3%



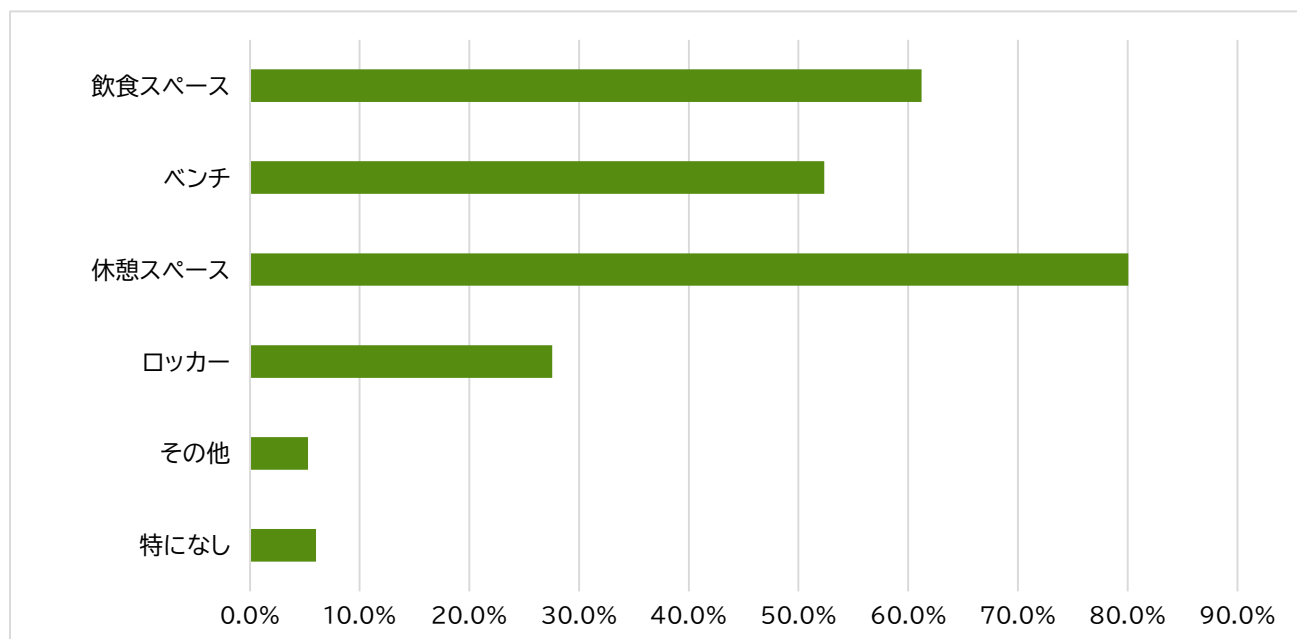
質問

複数回答

Q7. 誰もが使いやすい施設にするため、新たな港防災センターにあるとよい設備はどれですか。

回答者数 1,761 人

選択肢	回答数	比率
飲食スペース	1,078	61.2%
ベンチ	922	52.4%
休憩スペース	1,410	80.1%
ロッカー	485	27.5%
その他	94	5.3%
特になし	106	6.0%



質問

Q8. Q4～Q7 の選択肢以外で、新たな港防災センターにあると行ってみたいと思う展示や機能があればご記入ください。(自由記載)

【抜粋】

- ・地震や台風等の自然災害を疑似体験出来る施設。大掛かりになるが危機感や怖さ、自分の無力さを身体で体験する事は、書籍や映像だけでは理解できない物事を体に覚えさせる。
- ・ゲーム感覚で学べる展示や、災害を体感できる展示があると子どもから大人まで学習できると思います。
- ・小さな子供が数時間遊べる施設が併設されていると嬉しいです。小さな頃から何度も訪れることで、防災が身近なものになると思うので。
- ・私は伊勢湾台風の年に生まれたので両親から災害の酷さはよく聞いていましたし、小学生の時も習った覚えがあります。今小学校でも、過去の災害等詳しくお勉強しているとは思いますが孫の世代が安全に身を守れるように、勉強したり体験できたり出来るようになればいいと思います。
- ・小さい子どもがいます。子どもたちは観るだけよりも触ったり押したり、実感できることをやりたがり、より印象にも残るようなので、そういった体験コーナーが増えると良いなと思います。一方で、地元の災害は地元で語り継がないと忘れ去られてしまうため、需要がなくても知ることが出来るようにはしておくべきではないかとも思います。授乳室や赤ちゃん休憩室、大人も座れるベンチがたくさんあると、家族で行きやすいです。
- ・地震のゆれ体験はもちろん、水が 20cm の水路でも足がすくわれる体験。液状化の様子が目で見れる模型など。また防災トイレ体験もあると使い方がわからないという事が無くなるので安心。
- ・いまの防災センターの地震、伊勢湾台風、煙体験は子どもも一緒に参加でき、災害がリアルに体験でき自分の家でもなにかしなくちゃいけないという防災意識危機意識を持つことができたとてもいい体験でした。ですので、こういった体験できる施設が増えると更に一人一人の危機意識も上がるかなと思いました。
- ・駐車場が広いと行きやすい。普段の行動が車なので、駐車場が無いとお出かけ先としての選択肢に入らない。
- ・高齢者や障がい者の避難について、具体的な方法や助けを求める方法などについて、過去のケースの情報や今後の対策についての実践的な展示
- ・自治会(町内会)の避難所設置、避難所運営が学べる展示。子どもの保護者も多く訪れ、保護者の年代は町内会の役員も回ってくる年齢。市内には高齢化の進んでいる地域、外国籍の方の多い地域もあり、不安に思っている方は多いと思う。自分自身も町内会会長が回ってきた時に大地震がおきたらどうすればよいのかと不安に思っている。

質問

単一回答

Q9. あなたの同居家族の構成を教えてください。

回答者数 1,761 人

選択肢	回答数	比率
自分だけの単身世帯	283	16.1%
夫婦またはパートナーだけの1世代世帯	522	29.6%
親と子の2世代世帯	828	47.0%
親と子と孫の3世代世帯	74	4.2%
その他	54	3.1%

